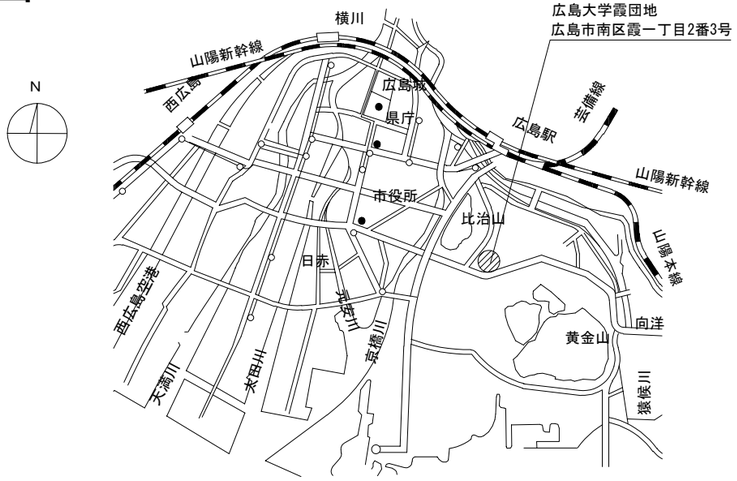
【別紙-1】機器搬入資料

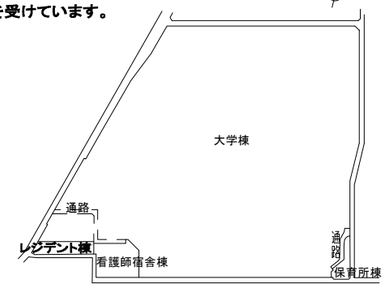
①配置図



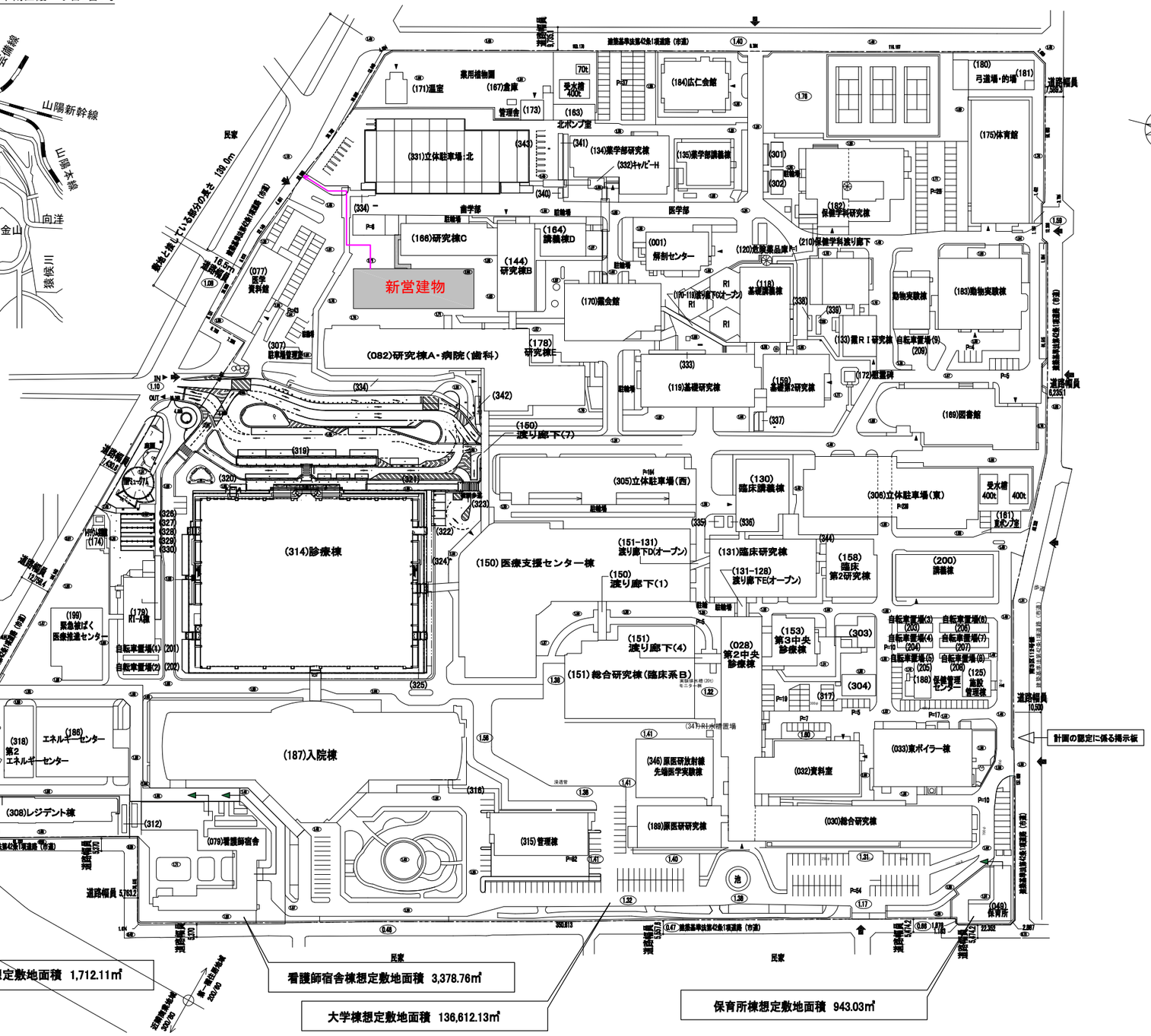
付近見取り図

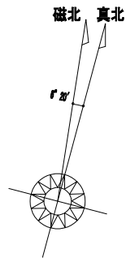
広島大学霞団地
広島市南区霞一丁目2番3号

この団地は、建築物の配置、規模等について、建築基準法第86条 第2項の規定に基づく認定を受けています。



計画の認定に係る標示板





レジデント棟想定敷地面積 1,712.11㎡

看護師宿舎棟想定敷地面積 3,378.76㎡

大学棟想定敷地面積 136,612.13㎡

保育所棟想定敷地面積 943.03㎡

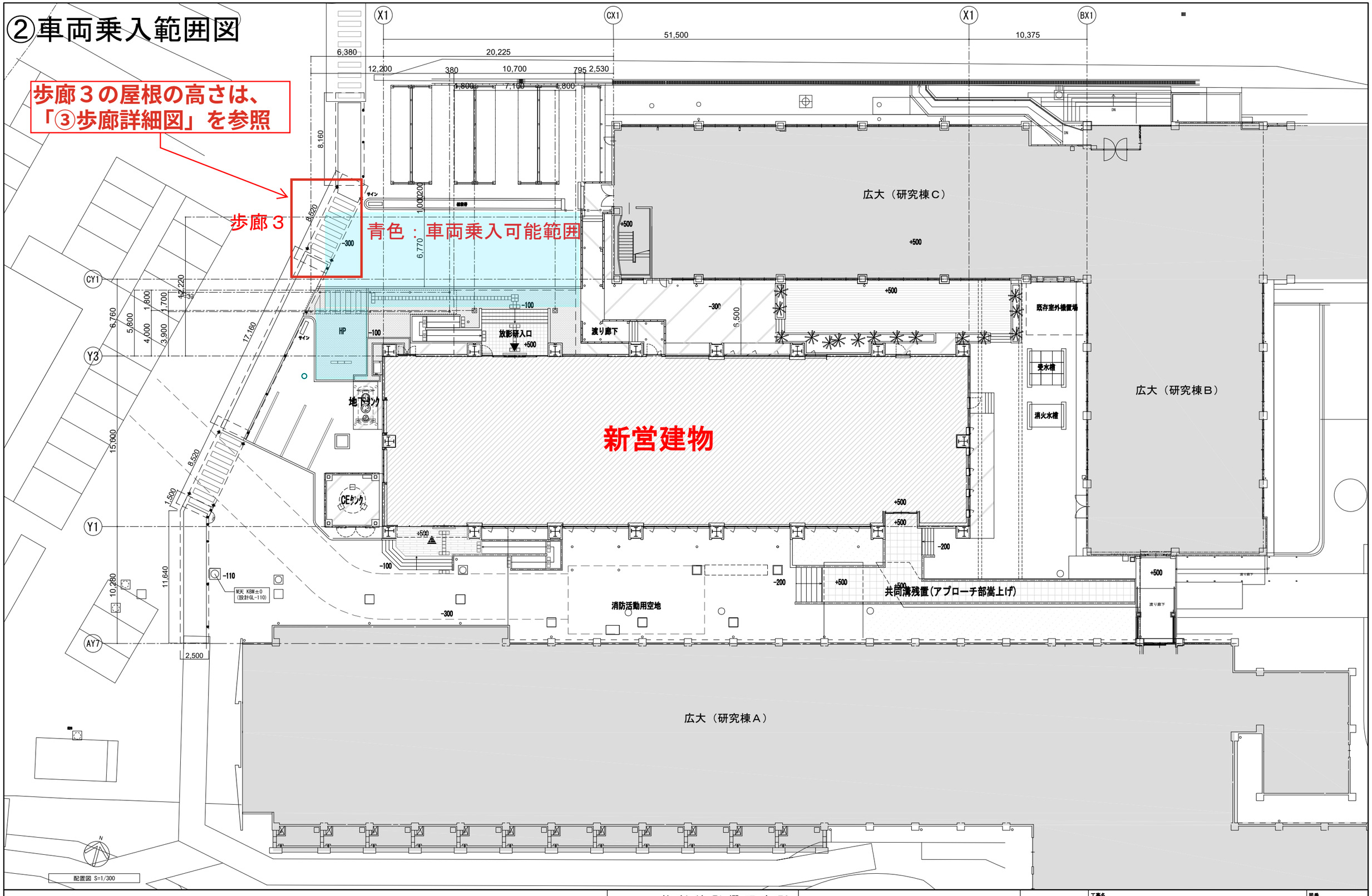
全体配置図 S＝1/2000

	公益財団法人 放射線影響研究所			工事名 放射線影響研究所・広島大学合築建物 新営工事	図番 A－002
				図名 全体配置図、案内図 / 縮尺 図示 / 設計日 2025/2	

2026.7.2

②車両乗入範囲図

歩廊３の屋根の高さは、
「③歩廊詳細図」を参照

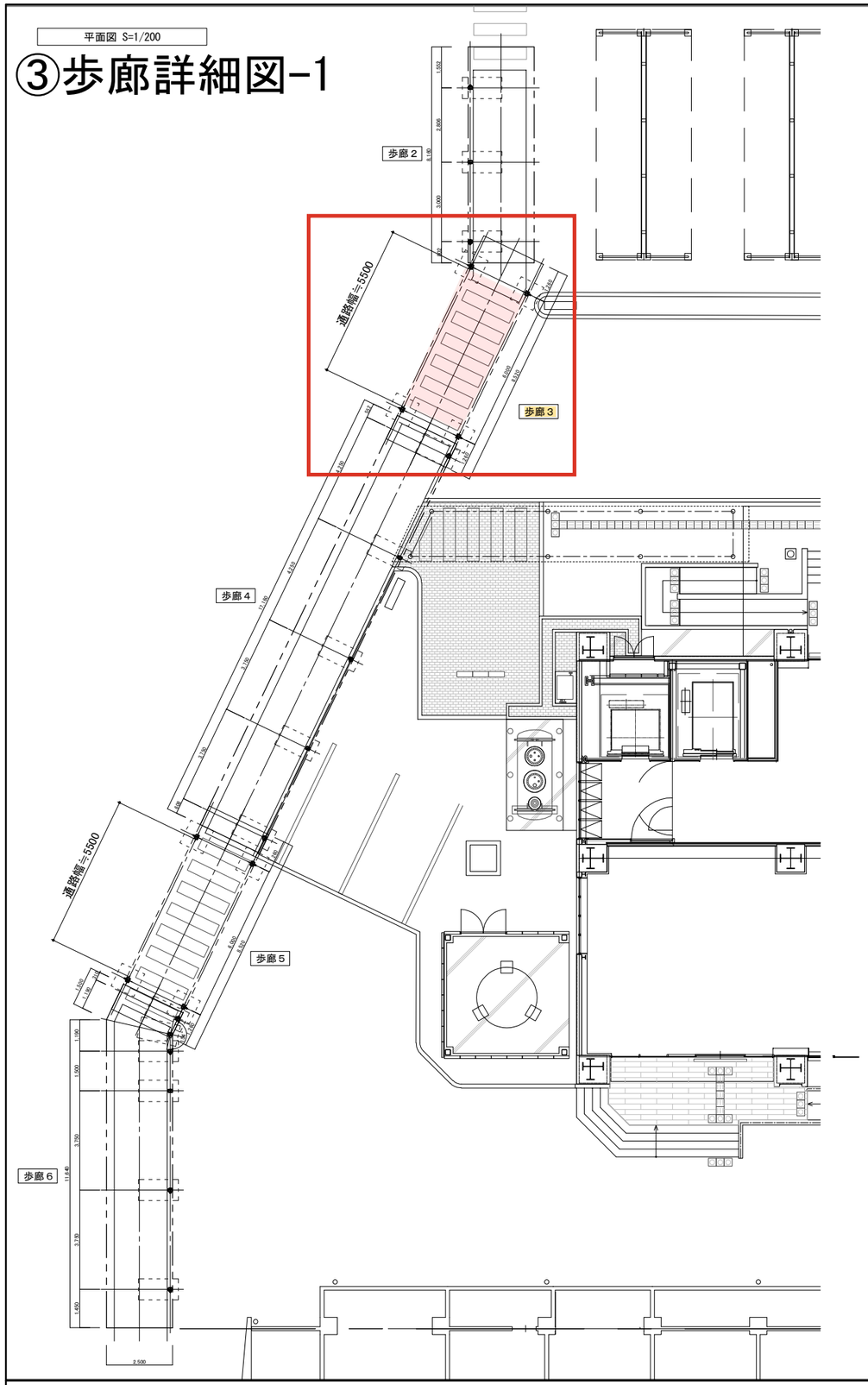


	公益財団法人 放射線影響研究所			工事名 放射線影響研究所・広島大学合築建物 新営工事	図番 A－004
				図名 配置図 / 縮尺 S=1/300 / 設計日 2025/2	

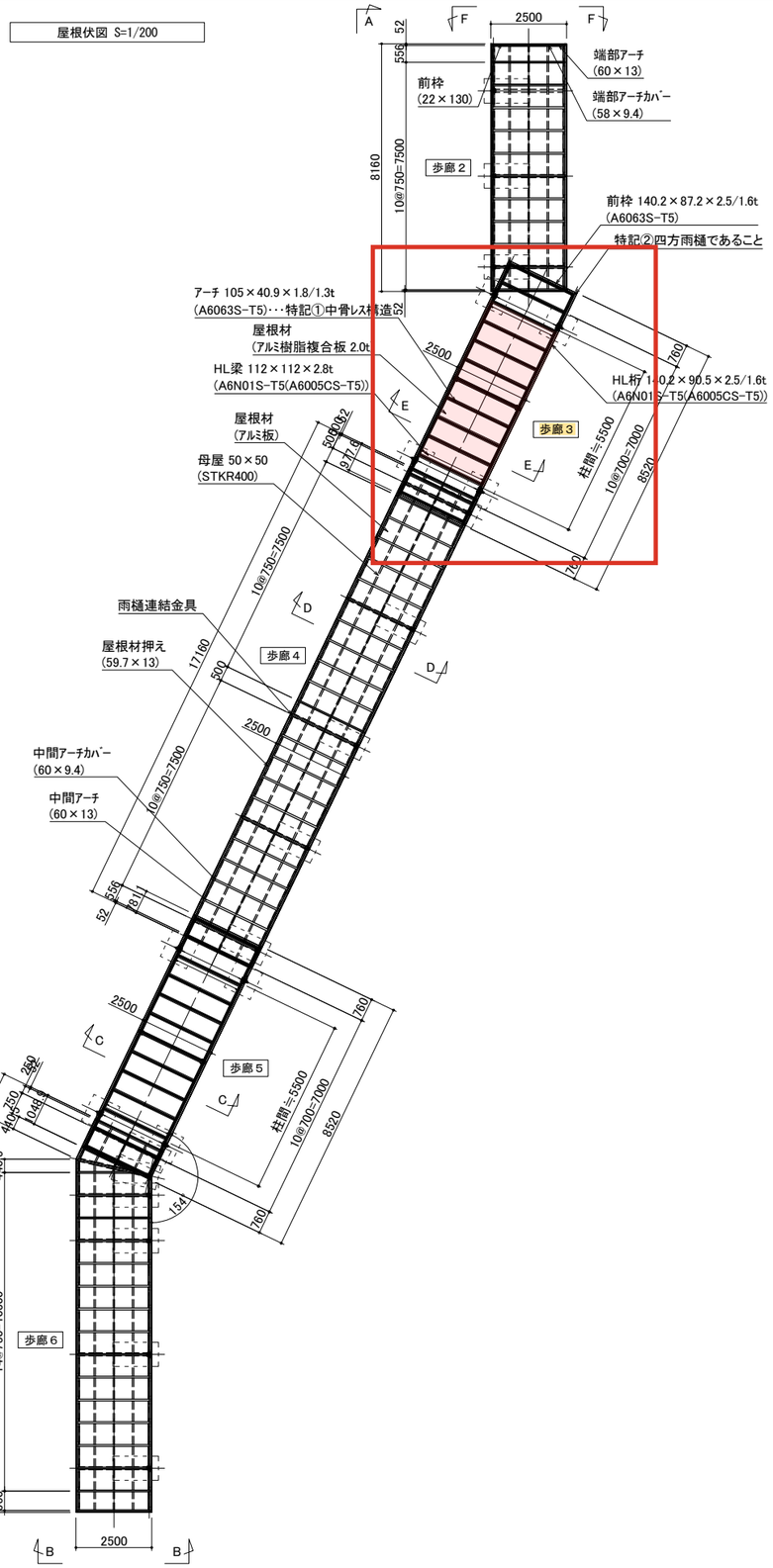
2026.7.2

③歩廊詳細図-1

平面図 S=1/200



屋根伏図 S=1/200



	公益財団法人 放射線影響研究所			工事名 放射線影響研究所・広島大学合築建物 新営工事	図番
				図名 歩廊２～６ 詳細図(1) / 縮尺 S=1/200 / 設計日 2024/7	A－135

2026.7.2

③歩廊詳細図-2

	W	W1	A
W25	2500	2333.4	164.6

基準風速V_0	参考基礎寸法		
	G1	G2	A
34m/s	800	1500	1200
36m/s	900	1600	1300

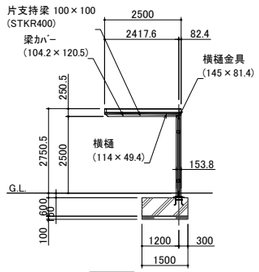
■ 歩廊2,4,6 参考仕様

フラットヤード FY-1L型		
仕様		
部材・部品	片支持柱・片支持梁・母屋	スチール
	雨樋・前枠・中間アーチ・端部アーチ・中間アーチカバー・端部アーチカバー・柱カバー・梁カバー・竪樋・母屋受け材・アーチ受け材・横樋・サドル・サドル受け・屋根材押え・雨樋連結金具・横樋金具	アルミ押出形材
	コーナーキャップ・梁キャップ	ASA樹脂
	屋根材	アルミ板
	ボルト・座金・ネジ	ステンレス

■ 歩廊3,5 参考仕様

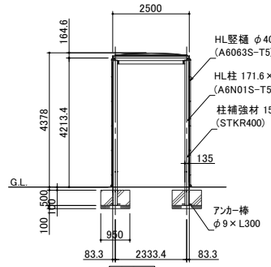
アーキラインシェルターAR-F型 両支持仕様 600N/㎡ HLタイプ H40		
仕様		
部材・部品	HL柱・HL桁・HL梁・桁スリーブ	JIS H4100 A6N01S-T5 (A6005CS-T5) (アルミ押出形材)
	前枠・端部アーチカバー・アーチ・アーチカバー・HL竪樋・HL桁カバー・屋根材押え・HL架台桁・雨樋スリーブ・HL桁支持材・HLブラケットスペーサー・HL柱補強材固定スペーサー	JIS H4100 A6063S-T5 (アルミ押出形材)
	HL柱補強材	JIS G3466 STKR400(スチール)
	HLブラケット	JIS G3302 SGH400(スチール)
	桁前枠連結金具・HL桁支持材裏板	SUS304(ステンレス)
	HL柱キャップ	SUS430(ステンレス)
	HL梁取付裏板・梁取付金具	SS400(スチール)
	コーナーキャップ・雨樋アタッチメント・92°エルボ	ASA(樹脂)
	でんでん	PA6(樹脂)
	屋根材	アルミ樹脂複合板(2.0t)
	ボルト・座金・ネジ	SUS(ステンレス)
	アンカー棒	鋼製

(特記事項)
①アーチのみで屋根材を支えるものとする。
②屋根枠の四方が雨樋構造である。



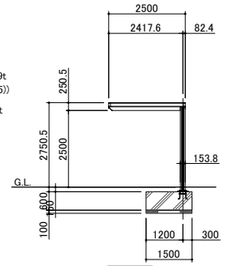
歩廊６

B－B側面図 S=1/200



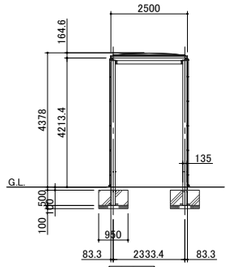
歩廊５

C－C側面図 S=1/200



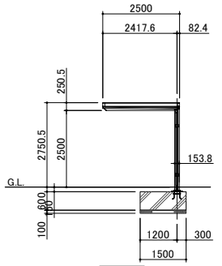
歩廊４

D－D側面図 S=1/200



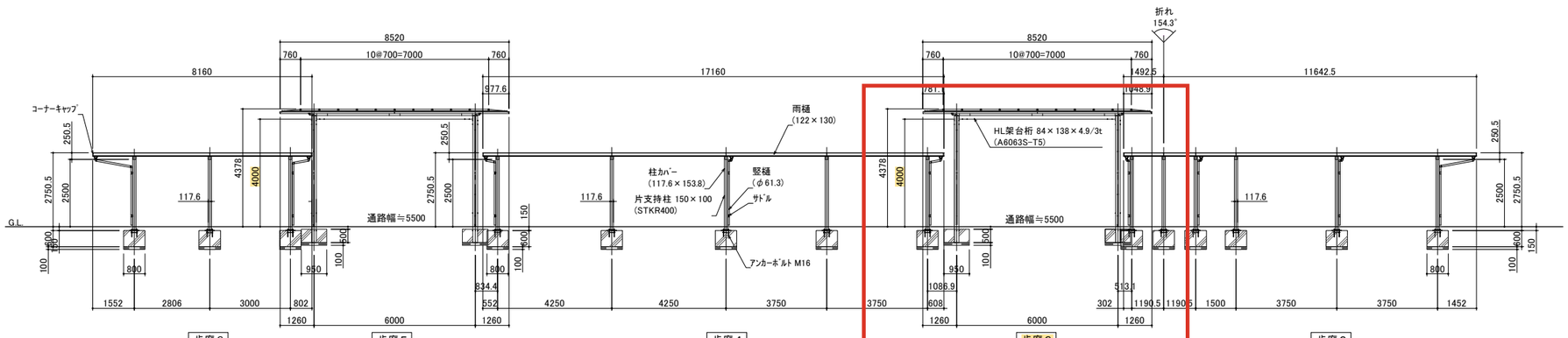
歩廊３

E－E側面図 S=1/200



歩廊２

F－F側面図 S=1/200

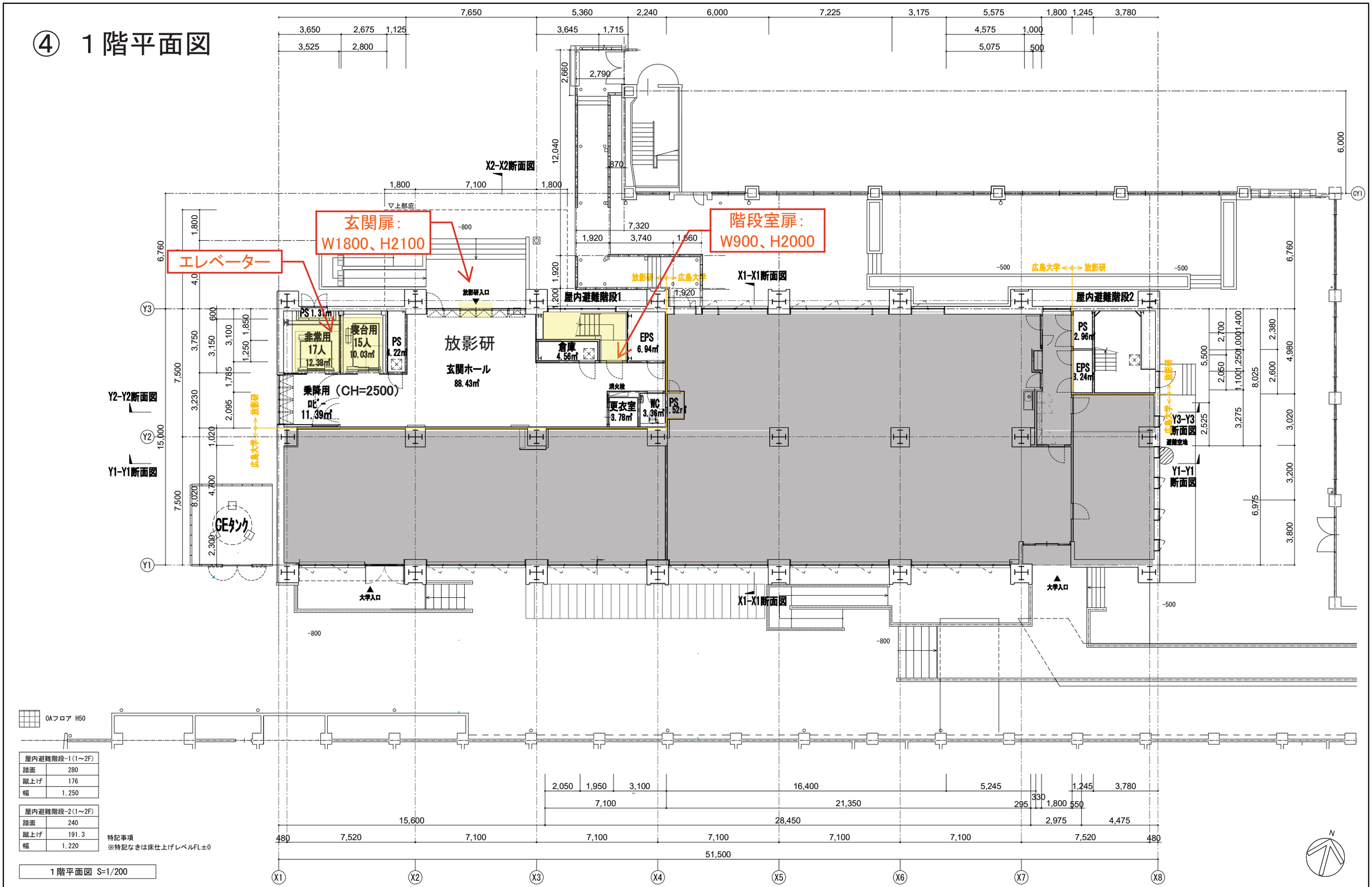


A－A側面図 S=1/200

	公益財団法人 放射線影響研究所			工事名 放射線影響研究所・広島大学合築建物 新営工事	図番 A－136
				図名 歩廊２～６ 詳細図(2) / 縮尺 S=1/200 / 設計日 2024/7	

2026.7.2

④ １階平面図



屋内避難階段-1（1～2F）	
踏面	280
蹴上げ	176
幅	1,250

屋内避難階段-2（1～2F）	
踏面	240
蹴上げ	191.3
幅	1,220

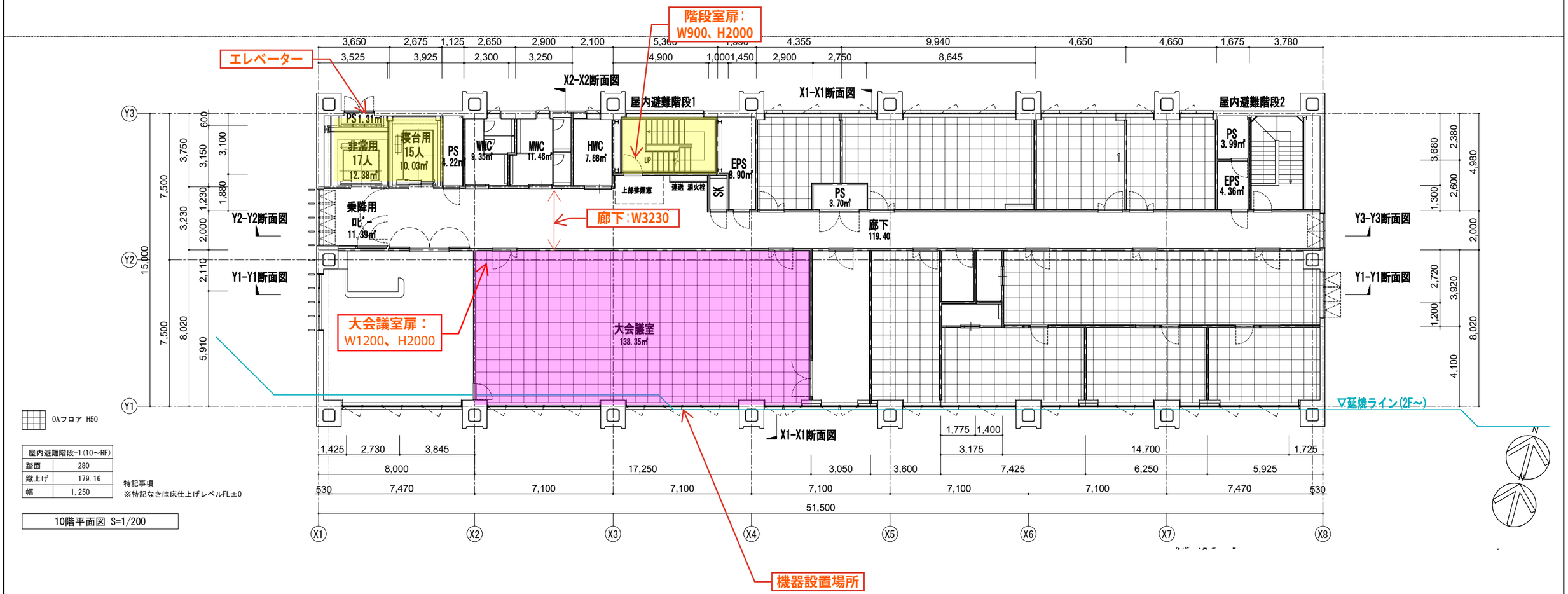
特記事項
※特記なきは床仕上げレベルFL±0

１階平面図 S=1/200

緩降機は床固定とし、半固定式のステップを設けて、フック取付け位置は床面から1.5m～1.8以下の高さ、操作面積（0.6m×0.6mかつ0.5㎡以上）を確保すること。緩降機は降下空間と架空電線との間隔を1.2m以上とするとともに、緩降機の上端と架空電線との間隔は2m以上とすること。	公益財団法人 放射線影響研究所			工事名 放射線影響研究所・広島大学会築建物 新営工事	図番 A－013
				図名 1階平面図 / 縮尺 S=1/200 / 設計日 2024/7	

2026.7.2

⑤ 10階平面図



屋内避難階段-1(10～RF)	
踏面	280
蹴上げ	179.16
幅	1,250

特記事項
※特記なきは床仕上げレベルFL±0

10階平面図 S=1/200

緩降機は床固定とし、半固定式のステップを設けて、フック取付け位置は床面から1.5m～1.8以下の高さ、操作面積（0.6m×0.6mかつ0.5㎡以上）を確保すること。
緩降機は降下空間と架空電線との間隔を1.2m以上とするとともに、緩降機の上端と架空電線との間隔は2m以上とすること。

公益財団法人 放射線影響研究所

工事名 放射線影響研究所・広島大学合築建物 新営工事

図名 10階平面図

縮尺 S=1/200

設計日 2024/7

図番 A－018

2026.7.2

⑥ エレベーター資料

仕様一覧

			NO1	NO2
号機				
用途			乗用（車いす仕様）（兼非常用）	寝台用（車いす仕様）
機種			XIOR（エクシオール/機械室レス）XIL2	XIOR（エクシオール/機械室レス）XIO2
制御方式			インバータ制御方式（電力回生無し）	インバータ制御方式（電力回生無し）
運転操作方式			2台群乗合全自動方式	2台群乗合全自動方式（専用運転付）
積載			1150 kg 17 名	1000 kg 15 名
速度			90 m/min	90 m/min
動力用電源			三相3線 210 V 60 Hz	三相3線 210 V 60 Hz
照明用電源			単相 100 V 60 Hz	単相 100 V 60 Hz
巻上電動機			11 kW	9.2 kW
停止階及び数			（正面） 1-10 階 10 個所 （背面） 階 個所	（正面） 1-10 階 10 個所 （背面） 階 個所
かご内法			（間口）1800 mm（奥行）1500 mm（高さ）2300 mm	（間口）1500 mm（奥行）2500 mm（高さ）2300 mm
出入口寸法			（間口） 1100 mm（高さ） 2100 mm	（間口） 1200 mm（高さ） 2100 mm
戸の方式			2枚 両引き（電動式）	2枚 片引き（電動式）
おもり			50 %バランス	50 %バランス
荷重条件 ※1			250 kg以下	800 kg以下
管制運転	地震時管制運転		●：（P・S波）リスタート運転機能付	●：（P・S波）リスタート運転機能付
	火災時管制運転		－	●
	停電時自動着床		●	●
	冠水時管制運転		●	●
	自家発時管制運転		－：（継続運転）	－
	緊急地震速報連動		－	－
	長周期地震時管制運転		－	－
セーフティ機能	カードアボケットセンサー		●	●
	ドアニック		●：（光電式）	●：（光電式）
	光電式多光軸ドアセンサー		●	●
	ドアエッジセンサー		－	－
	ドアウインカー		－	－
ユニバーサルデザイン	車いす仕様		●	●
	音声案内装置（かご内設置）		●：四ヶ国語対応（通常時：日英、緊急時：日英中韓）	●：四ヶ国語対応（通常時：日英、緊急時：日英中韓）
	聴覚障がい者仕様	視覚障がい者仕様（点字）	●	●
		聴覚障がい者仕様（応答灯付インターホン呼びボタン）	●	●
	発音機能付タクタイルボタン		●	●
	走行お知らせ音		●	●
	敷居隙間 10mm		－：隙間 30mm	●
乗場	三方枠		全階 大枠 ステンレスヘアライン仕上	全階 大枠 ステンレスヘアライン仕上
	幕板		全階 －	全階 －
	扉		全階 化粧鋼板	全階 化粧鋼板
	遮煙乗場ドア		－	●：1－10階
	防犯窓 ※2		－	－
	敷居		全階 硬質アルミ製	全階 硬質アルミ製
	乗場意匠機器 表示機器		全階 液晶表示（湿球度表示付）/押ボタン組込	全階 液晶表示（湿球度表示付）/押ボタン組込
	乗場意匠機器 押ボタン		全階 35φ抗菌樹脂ボタン/非接触呼登録（一体型）	全階 35φ抗菌樹脂ボタン/非接触呼登録（一体型）
	乗場意匠機器 フェースプレート		全階 ステンレスヘアライン仕上	全階 ステンレスヘアライン仕上
かご	天井		デラックスタイプ	デラックスタイプ
	袖壁		ステンレスバイブレーション仕上（入口柱一体）	ステンレスバイブレーション仕上（入口柱一体）
	入口柱		－	－
	側壁		化粧鋼板	化粧鋼板
	幕板		化粧鋼板	化粧鋼板
	扉		化粧鋼板	化粧鋼板
	幅木		アルミアルマイト仕上	アルミアルマイト仕上
	床		t=2.0 ビニールタイル	t=6.0 ゴムタイル
	敷居		硬質アルミ製	硬質アルミ製
	換気装置		クーラー（強制式）	クーラー（強制式）
	主操作盤 表示機器		液晶表示/操作盤組込	液晶表示/操作盤組込
	主操作盤 押ボタン		35φ抗菌樹脂ボタン/非接触呼登録（一体型）	35φ抗菌樹脂ボタン/非接触呼登録（一体型）
	主操作盤 フェースプレート		ステンレスバイブレーション仕上	ステンレスバイブレーション仕上
	手すり		32φ ステンレスヘアライン仕上（補助亜鉛ダイカスト製）	アルミアルマイト仕上（補助樹脂製）
	鏡		背面中央パネル：3t(ステンレス鏡面仕上	背面中央パネル：3t(ステンレス鏡面仕上
	ガード		ステンレスヘアライン仕上（H＝300）	ステンレスヘアライン仕上（H＝300）
	保護幕		●：標準品（取付：磁石式）	●：標準品（取付：磁石式）
	床マット		●	●
	ITVカメラ		●：122万画素、メンテナンスカメラ兼用	●：122万画素、メンテナンスカメラ兼用
特記仕様			AirTap 非接触ボタン（一般用主操作盤,インジケータ押ボタン）	AirTap 非接触ボタン（一般用主操作盤,インジケータ押ボタン）
			抗菌仕様ボタン（乗場/かご）	抗菌仕様ボタン（乗場/かご）
			絶縁トランス盤	絶縁トランス盤
			かごドア両開セーフティ付	かご床強度増し対策
			行先階キャンセル機能	戸開き延長ボタン
			放送用スピーカー	行先階キャンセル機能
			映像分配器	放送用スピーカー
				映像分配器
	監視盤		壁掛型監視盤	－
高調波対策	（1）標準対策 【EMIフィルタ 零相リアクトル】		● 【回路分類NO.31 6パルス換算係数Ki＝3.4】	● 【回路分類NO.31 6パルス換算係数Ki＝3.4】
	（2）オプション対策 【（1）＋DCリアクトル】		● 【回路分類No.33 6パルス換算係数Ki＝1.8】	● 【回路分類No.33 6パルス換算係数Ki＝1.8】

基本仕様

最寄階救出運転
戸開き不能時救出運転
乗り過ぎ検出（警報ブザー及び音声案内）
各階強制停止運転（各停運転）
昇降機耐震設計・施工指針（2016年版）対応
戸開走行保護装置
イオンフル（プラズマクラスター技術搭載/シャープ（株）商標）
耐震クラス（ A14 ）

エコロジー機能

かご天井 LED照明（液晶インジケータのバックライトもLED化）
シックハウス対策（法令（建基）に基づいたシックハウス対策に対応）
かご照明の自動休止

NEWゴールドメンテナンス契約により有効となる機能

地震管制後の自動診断・仮復旧運転
メンテナンス用カメラによる、遠隔映像監視・遠隔閉込救出対応
24時間リモート点検
聴覚障がい者仕様：応答液晶表示（仕様が付加された場合、契約に関わらず有効）
情報モニター：コンテンツの配信及び表示（モニター本体の有無は仕様による）

車いす仕様

乗場	車いす専用乗場ボタン
かご内室	車いす専用かご主副操作盤（主側のみインジケータ付）
	鏡
	手すり
セーフティ機能	戸開放時間の延長
	戸閉速度の低減
	自動着床修正装置
	光電式多光軸ドアセンサー

※1 4輪手押し台車等で荷物を積み込む場合は、台車の重量を含んで、荷重条件以下に分けて積み込みください。

※2 特定防火設備の区画では、防犯窓付の扉は設置出来ませんのでご注意下さい。

下記作業については、別途見積りとなります

夜間作業
部分営業中現場への搬入に際し、警備員・誘導員及び道路使用許可を必要とする場合
2階以上の階もしくは地階からの搬入作業
荷下ろし場所から設置・仮置き場所までの距離が30mを超える場合
据付工事短縮を必要とする場合
エレベータを工事用として使用する場合の検査・清掃・復旧・補修・保守費用
エレベータ据付工事以外で立会いが発生する場合
展望用エレベータ等で昇降路を養生する必要がある場合
床・壁等に養生を必要とする場合
エレベータ着工前までの出入口開口部の養生材及び養生材設置工事
その他特殊な事情がある場合

NO2のみ

遮煙エレベータ乗場ドア

認定番号 CAS-0598 （国住指第4107号）

1-10 階 乗場ドアは、上記認定品とする。

認定条件通り停電時自動着床装置と火災管制運転（自動）を合わせて設置しております。

遮煙エレベータ乗場ドア設置上の注意事項

- 遮煙エレベータ乗場ドア設置条件として、建物の火災感知信号をエレベータ制御盤へ供給いただく必要があります。
- 建物側で自動火災報知設備の設置義務が無い場合においても、遮煙エレベータ乗場ドア設置階のエレベータホールに煙感知器などの火災感知器を設置の上、火災感知信号をエレベータ制御盤へ供給願います。

エレベータ除外工事

建築工事関係除外工事

1. 昇降路の築造工事。
   （コンクリート打ち誤差により必要となるはつりまたは肉付け工事）
   - 昇降路のコンクリート強度は 21N/mm²（FC21）以上。
   - 昇降路のコンクリート壁厚は 150mm 以上。
   - 昇降路の壁（囲い）は、5cm²の任意の面に直角方向の外力（300N）が作用しても15mmを超える変形及び塑性変形を生じない構造とする。
2. 各階出入口（インジケータ、押釦用孔含む）の孔あけ工事。
3. 各階乗場出入口枠周囲のモルタル詰め もしくはロックウール詰め工事。
4. 乗場据付後の出入口避りの壁・床及び建築物補修仕上工事。
5. 屋上・開放廊下等直接外気と接する乗場における雨水よけ設備工事。
   （排水口・水勾配・庇など）
6. ピット内防水仕上工事、およびピットが深い場合の埋め戻し工事。
   （エレベータ工事の着工前に完了のこと）
   - 防水厚は 25mm 以下。
7. 昇降路頂部の荷吊り用ビーム（ 30 kN）設置工事。
8. 鉄骨構造の昇降路に於ける鉄骨材の耐火処理工事及び耐火材の飛散防止処理工事。
9. レール支持用（ 立柱 ）の設置工事。
10. 敷居受材設置工事。

設備工事関係除外工事

1. エレベータ受電箱までの動力電源・照明電源・接地線の引込み、並びにつなぎ込み工事。
2. 昇降路外のインターホン・非常ベル、その他エレベータに必要な配管配線工事。
3. ピット点検用コンセント設置工事。
4. 昇降路頂部の煙感知器設置工事。（昇降路頂部より点検が可能な事）
5. エレベータ遠隔監視用電話線（電話中継盤から監視ユニット設置場所まで）の配管配線工事。

注意事項

1. 昇降路内に他の用途の配管、ダクトを設けないように願います。昇降機に必要な配管設備にあっては、昇降機の機能に支障無きよう願います。また、昇降路壁にはエレベータ以外の電気・水道等の配管・器具類を埋め込まないで下さい。
2. エレベータ受電箱における電源電圧の変動は ±5%以内、照明用は ±2%以内、電圧不平衡率は5%以内に保つよう電源を設置下さい。
3. 昇降路内温度は40℃、湿度は月平均90%・日平均95%を超えないようにして下さい。
4. 昇降路には有毒ガスや塵だい塵埃等が入らないようにして下さい。
5. 昇降路および出入口は風雨に直接さらされたり、塩分の影響を受けないようにして下さい。
6. エレベータ機器の搬入に支障のない経路を確保願います。
   （必要に応じてコンクリート孔あけ、および埋戻し工事）
7. 据付工事用仮設電源、試運転用電力、砂、セメント、水等は無償供給願います。
8. 工事現場におけるエレベータ部品、据付材料の保管場所を無償貸与願います。

NO1

※昇降路内温度の制約

下記いずれかの場合は、「換気上有効な開口部、換気設備又は空気調和設備」を設ける必要があります。

- 昇降路内温度が40℃を超える場合（エレベータ機器の発熱や昇降路外からの入射熱等による）
- エレベータ機器発熱量による昇降路内温度上昇が7℃を超える場合

エレベータ機器発熱量（かご用クーラー含む）	9659 W
エレベータ機器発熱量による昇降路内温度上昇	7℃以下

※エレベータ機器の発熱や昇降路外からの入射熱等により、昇降路内温度が40℃を超えないかご確認ください。

NO2

※昇降路内温度の制約

下記いずれかの場合は、「換気上有効な開口部、換気設備又は空気調和設備」を設ける必要があります。

- 昇降路内温度が40℃を超える場合（エレベータ機器の発熱や昇降路外からの入射熱等による）
- エレベータ機器発熱量による昇降路内温度上昇が7℃を超える場合

エレベータ機器発熱量（かご用クーラー含む）	8952 W
エレベータ機器発熱量による昇降路内温度上昇	7℃以下

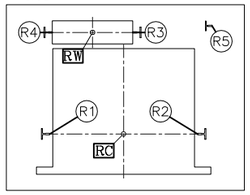
※エレベータ機器の発熱や昇降路外からの入射熱等により、昇降路内温度が40℃を超えないかご確認ください。

	公益財団法人 放射線影響研究所		（一級建築士大臣登録第 336522 号）（構造設計一級建築士第 9280 号） 末吉 徹太郎 【関連図面作成に関わる部分が異なる】	工事名 放射線影響研究所・広島大学合築建物 新営工事
			（一級建築士 登録第151369号）（設備設計一級建築士 第2148号） 東條 和彦 【関連図面作成に関わる部分が異なる】	図名 昇降機設備図（1） 仕様一覧 / 縮尺 / 設計日 2024/7

図番 EV－001

2026.7.2

◎NO1



ピット部反力（kN）：長期荷重

R1	R2	R3	R4	R5
39	44	48	41	21

ピット床衝撃力（kN）：短期荷重

RC	RW
135	122

レールに作用する荷重値 （kN）

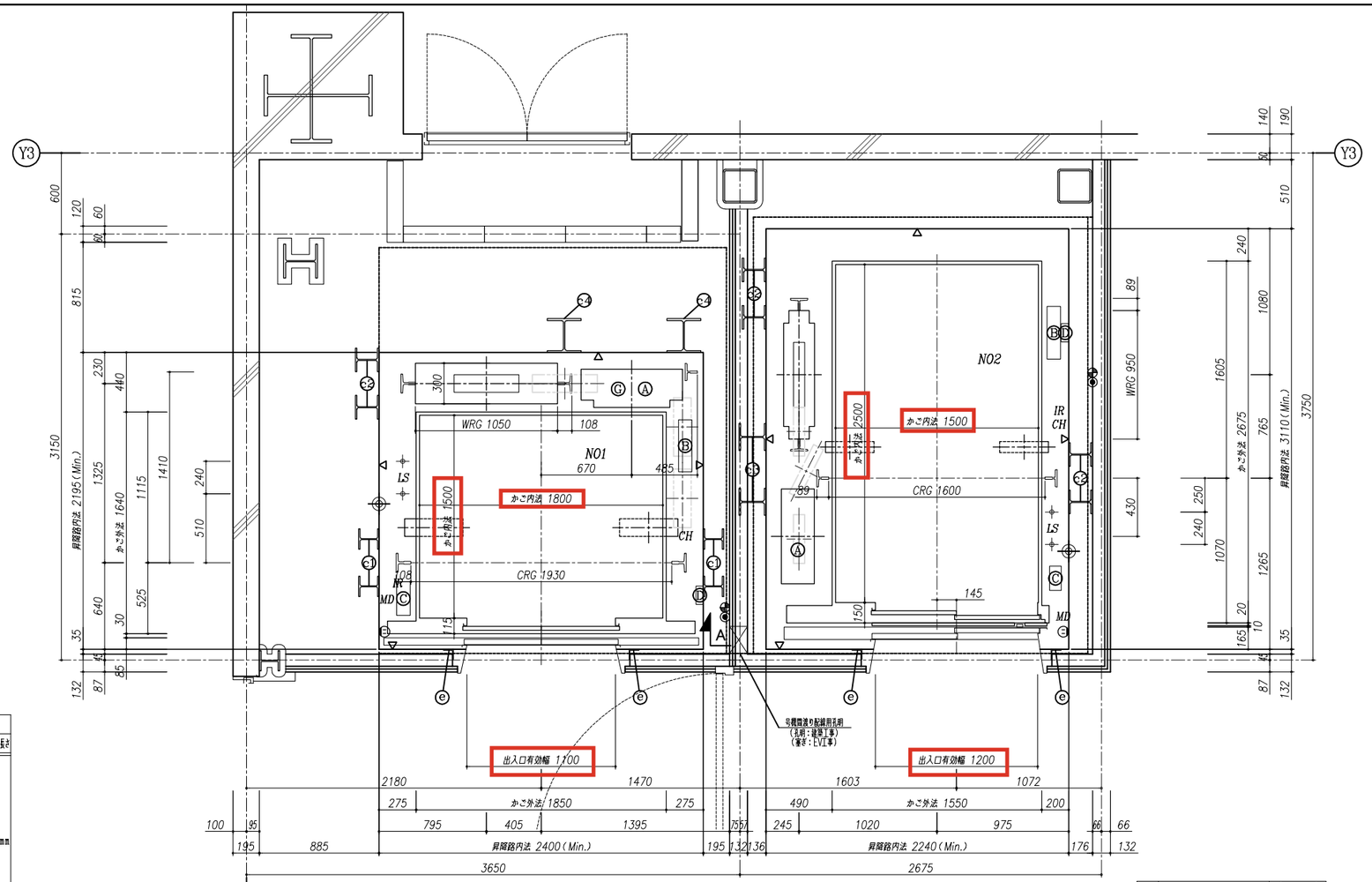
		Px	Py
Py / Px	かご	7.9	4.2
	おもり	12.0	6.0
	柱	3.6	1.8

短期荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください

◎NO1

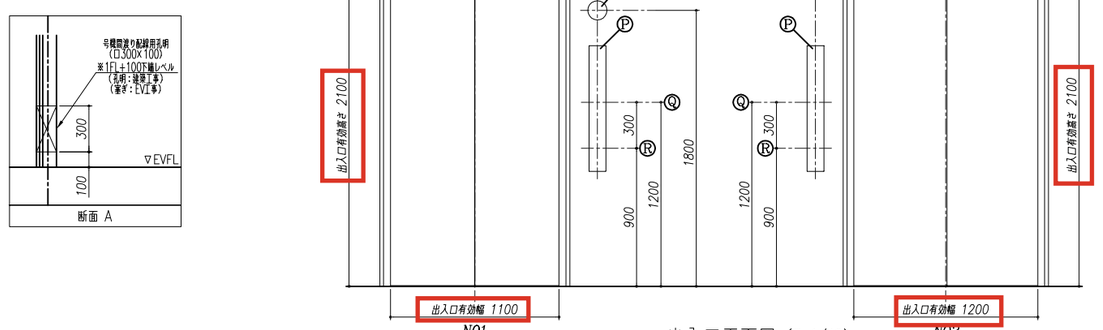
電源設備（1台当たり） 【電気工事】						
記号	種別	線種等			引込み高さ	引出し線長さ
⊕	動力用電源	3φ3WAC/GC 210V 60Hz			1FL-100	3500mm
		幹線サイズ（mm²）	14	22 / 38		
		幹線こう長（m）	57	87 / 142		
		電気室ブレーカ（A）	50			
		接地線（mm²）	3.5			
		電源設備容量（kVA）	8.0			
		動力用自家発電容量（kVA）	40.0			
		制御盤内蔵圧トランス容量（kVA）	0.15			
	照明用電源	1φ2WAC/GC100 V 60 Hz				
		照明用電源容量（kVA）	1.0			
		照明用自家発電容量（kVA）	1.0			
	クーラー用電源	動力用電源に含む				
⊕	ピットコンセント	AC100V 10A 1個（防油型）			1FL-200	
◉	電話回線用配線	PVCO．9-2C			1FL+100	6000mm
◒	弱電配線	別途打ち合わせ願います。			1FL+100	8000mm

高調波対策
高周波漏洩電流と高周波ノイズの影響を低減するため、できるだけ建屋側でも下記対策をお願いします。
1．漏電遮断器等を設置する場合は「インバータ対応型」とし、
感度電流値は昇降機1台あたり50mA（感度設定値100mA相当）の
漏洩電流として設定下さい。
2．昇降機と同一電源トランスを使用している機器の漏電遮断器、漏電警報器にも
「インバータ対応型」を使用して下さい。
3．昇降機の動力線と弱電機器の電源・信号線は、平行に配線しないで下さい。
やむを得ず平行配線する場合は、1m以上離して下さい。
4．昇降機の電源トランスと弱電機器の電源トランスを分離して下さい。
5．昇降機のアース線と弱電機器のアース線は、各々独立して配線のうえ、接地下さい。
（接地極は同一で構いません。）
6．昇降機の昇降路や動力線の近くにラジオや通信機器のアンテナを設置しないで下さい。



1階昇降路平面図 (S=1/40)

注：ピット内は、塗膜防水仕上塗います。
△：防水仕上面を示す。
注：地中梁天端：1FL±0としてください。



出入口正面図 (S=1/40)

A	巻上機
B	制御盤
C	受電箱・ピットタフップ
D	地震感知器
G	インバータ盤

(EVI工事)

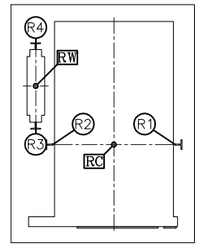
c1	H-150×150×7×10
c2	H-175×175×7.5×11
c3	H-200×200×8×12
c4	H-250×250×9×14
e	L-75×75×6
f	L-65×65×6

(建築工事)

※レール支持用柱は各階梁にて強固に固定の事

P	インジケータ
Q	一般用押釦式
R	車いす用押釦式
S	非常呼戻しボタン（1Fのみ取付）
T	非常用銘板

◎NO2



ピット部反力（kN）：長期荷重

R1	R2	R3	R4
40	10	74	33

ピット床衝撃力（kN）：短期荷重

RC	RW
123	113

レールに作用する荷重値 （kN）

		Px	Py
Py / Px	かご	7.5	5.6
	おもり	8.9	4.6

短期荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください

◎NO2

電源設備（1台当たり） 【電気工事】						
記号	種別	線種等			引込み高さ	引出し線長さ
⊕	動力用電源	3φ 3W AC 210V 60Hz			1FL-100	3500mm
		幹線サイズ（mm²）	8	14 / 22		
		幹線こう長（m）	34	60 / 92		
		電気室ブレーカ（A）	40			
		接地線（mm²）	3.5			
		電源設備容量（kVA）	8.0			
		制御盤内蔵圧トランス容量（kVA）	0.15			
	照明用電源	1φ 2W AC 100V 60Hz				
		照明用電源容量（kVA）	1.0			
	クーラー用電源	動力用電源に含む				
⊕	ピットコンセント	AC100V 10A 1個			1FL-200	
◉	電話回線用配線	PVCO．9-2C			1FL+100	4500mm
◒	弱電配線	別途打ち合わせ願います。			1FL+100	7000mm

高調波対策
高周波漏洩電流と高周波ノイズの影響を低減するため、できるだけ建屋側でも下記対策をお願いします。
1．漏電遮断器等を設置する場合は「インバータ対応型」とし、
感度電流値は昇降機1台あたり50mA（感度設定値100mA相当）の
漏洩電流として設定下さい。
2．昇降機と同一電源トランスを使用している機器の漏電遮断器、漏電警報器にも
「インバータ対応型」を使用して下さい。
3．昇降機の動力線と弱電機器の電源・信号線は、平行に配線しないで下さい。
やむを得ず平行配線する場合は、1m以上離して下さい。
4．昇降機の電源トランスと弱電機器の電源トランスを分離して下さい。
5．昇降機のアース線と弱電機器のアース線は、各々独立して配線のうえ、接地下さい。
（接地極は同一で構いません。）
6．昇降機の昇降路や動力線の近くにラジオや通信機器のアンテナを設置しないで下さい。

公益財団法人 放射線影響研究所

工事名 放射線影響研究所・広島大学合築建物 新営工事

図名 昇降機設備図（2） 1階昇降路平面図

縮尺 S=1/40

設計日 2024/7

図番 EV－002

2026.7.2